

金沢港クルーズターミナルと発酵食のまち大野

視察研修旅行 9/12 (月)

秋晴れの朝、当女性会会員18名参加のもと、金沢市無量寺町にある海の玄関口「金沢港クルーズターミナル」を見学しました。モダンなデザインの屋根は、日本海の白波の形をイメージしているとのこと。また全面ガラス張りの開放的な建物となっています。夜は「加賀五彩」の五色が点灯され、美しくライトアップされます。新たな賑わい創出のスポットとして人気を博しているようです。同時に2隻までのクルーズ船入港に対しての手荷物検査や出入国審査を行うCIQコーナーや待合エリアが確保され高い利便性を誇っています。

また、待合エリアには、海をテーマにした石川県の伝統工芸作品を飾った柱が設置されています。工芸王国石川ならではの奥深さや、高度な技を楽しむことができます。クルーズ船の寄港のない時期には、この待合エリアは展示会や様々なイベントに利用されています。

2階には、クルーズ船の操船体験が出来るシミュレーターや、クイズコーナーがあります。屋根付きの展望デッキからは、日本海が一望できます。大人も子供も楽しめる観光スポットになっています。



クルーズターミナルと金沢港について説明をうけました。

次は、発酵食のまち大野を訪れました。ヤマト醤油味噌の製造工場「糀パーク」です。この「糀パーク」のキッチンスタジオで塩糀作りを体験しました。乾燥糀(200g)、塩(68g)、水(300cc)をふた付きのびんに入れ、キッチリとふたを閉めて振り混ぜます。ふたに付いたラベルに日付を記入しました。その後、2~3日に1度かき混ぜ、2週間ほど直射日光をさけて常温で寝かせます。(夏は1週間ほど、冬は10日から2週間ほど)塩糀は、塩の中に糀のうまみ、やさしい甘みが加わります。炒め物、煮物、あえ物などの味付けや、肉、魚、野菜、豆腐などを漬けると素材のうまみが引き立ちます。(次頁へ続く)

塩糀の作り方

材料
乾燥糀 200g
塩 68g
水 300cc

用意するもの
ふた付きのガラスびん
(清潔なもの)

- 1) 材料を計り全て、びんに入れる。
- 2) ふたをしっかりと閉めて、よく振り混ぜる。
- 3) 直射日光を避けて、常温で寝かせる。
2~3日に一度混ぜる。
夏場は、1週間
冬場は、10日~2週間ほど
で完成



視察研修旅行 発酵パワーと幕末の科学者



醤油蔵の中で味噌や醤油の発酵パワーについて学ぶ

塩糀作りの他にも、醤油糀やみそボール作りの体験もあるそうです。

日本人のソウルフード「みそ汁」。抗酸化作用のあるみそは、完全食品と言えます。大豆サポニンには血清コレステロールの上昇を抑える働きがあります。レシチンや食物繊維には、コレステロールを排出する働きがあります。また、ガンや生活習慣病のリスクを下げます。骨粗しょう症や糖尿病の改善も期待されています。更に女性には嬉しい美肌効果があります。リノール酸はメラニンの合成を抑え、シミやそばかすを防ぎます。これら糀の効用については、糀蔵のガイドツアーの中で説明があり、スタッフさんの明るく丁寧な説明を聞きながら、糀たっぷりの甘酒を使った手湯も体験しました。糀の湯に手を浸すとしっとり滑らかな肌触りになりました。昼食は、糀パーク内の「発酵美人食堂」にて、発酵美人ランチを頂きました。糀のパワーを学んで、体験し、味わう、正に糀尽くしのひと時でした。

「金沢港大野からくり記念館」は、この地に住み、活躍した幕末の科学技術者からくり師大野弁吉の業績を紹介しています。からくり人形の実演では、館長さんの巧みな話術にワクワクし、かわいい茶運び人形に癒されました。館内にはからくり遊具が置かれ、立体パズルや知恵の輪、からくり箆笥など、実際に自分で触って解くことができ、時間を忘れて楽しめます。

また、この記念館は建築家内井昭藏氏の設計の素晴らしさも大きく評価されています。北前船をイメージして作られています。木の温もりや和傘の様な骨組みの飾り天井は見事のひと言です。

今回は、短い時間でしたが、充実した内容の視察研修となり私たちは大満足の日でした。



からくり記念館ではからくり人形の実演と解説をうけました。



記念に一枚

偶然にも、全国大会の講演会テーマも「発酵食」でした。そのパワーをより積極的に日々の食事に取り入れていきたいですね！目指せ、発酵美人！

福島全国大会

対面式の開催は3年ぶり

10月8日に、第54回全国商工会議所女性会連合会福島全国大会が、福島県郡山市で開催され、全国319女性会から約1,500人（当所女性会より5名）が参加しました。

式典は、映画「フラガール」のモデルとなった小野恵美子氏主宰のスクールのフラダンスで幕を開けました。主催者挨拶で市瀬優子全商女性連合会長は、「現在、経営を取り巻く環境は大変厳しく、不確実性の高い状況にあるが、諸先輩から引き継いだバトンをしっかり次世代につないでいこう」と全国の女性会メンバーへ呼びかけました。

続いて挨拶をした三村日本商工会議所会頭は、「日本全体が停滞から変革への大転換期を迎えている。女性会も覚悟を持って自己変革に挑戦し、これまで以上に地域経済に新たな活力を与えて欲しい」と期待を寄せられました。

総会では、第21回女性企業家大賞および全商女性連表彰の授賞式が行われ、最後に次回開催地の新潟県内の女性会メンバーへ大会旗が渡され、締めくくられました。

式典終了後の記念講演会では、福島出身で、東京農業大学名誉教授の小泉武夫氏を講師に『発酵食品は女性を美しくする』と題した講演会が開催されました。小泉氏が研究をされている発酵食品について「私はもうすぐ80歳になるが、肌の艶もよく、白髪もなくフサフサ、それは全て発酵食品のおかげ！」とパワフルに語り、あっという間に予定時間の1時間が過ぎました。



福島大会のウェルカムボードは赤いハートがいっぱい！

SDGs研修

小松マテーレで見学・体験・お買い物



屋上庭園の紅葉と日本海の対比も素敵でした。

11月9日（水）、能美市にある小松マテーレ（株）にて、SDGs研修を行い18名が参加しました。

小松マテーレでは、建築家の隈研吾氏による耐震補強が雪吊りの様にデザインされた見学棟「f a - b o（ファーボ）」に案内されました。屋上には、染色過程の廃棄物を利用した基礎に植物が植えられていました。秋晴れの青空の下、紅葉し絨毯のような屋上庭園が見事でした。

そのまま階下へ移動しながら、石川県での繊維産業の歴史から始まり、小松マテーレの繊維事業から建築資材までの流れ、生地加工、精練についてなどを学びました。

一通り見学を終えて、1階にある体験スペースでは、小物作りを体験しました。様々な色、素材のハギレを使った小さなクッションの中から好みのものを選んでジンベイザメのお腹に詰め込み、オリジナルのぬいぐるみを作る体験と布マスク用のゴム紐の切れ端を使ったミサンガ作りに挑戦しました。

最後に工場直販店「mono-bo（モノーボ）」にて、工場直販ならではの商品を実際に手に取ってみました。芝生の養生シートを利用したバッグや、カーテンの裏地を表地として使用したものなど、取り扱う商品にもSDGsの意識が感じられました。

正味2時間ほどの研修でしたが、参加者からは、「身近にこんな施設をもつ企業があるとは知らなかった。」との感想もあり、充実した研修となりました。

小松マテーレ ファクトリーショップ
mono-bo(モノーボ)
所在地: 能美市浜町又168-8
(小松マテーレ株式会社横)
営業時間: 10:00~18:00
休館日: 日・月曜日 (年末年始、GW、お盆期間)
TEL: 0761-58-0364



ショップサイトQR

言葉の力



信頼とはとても時間のかかるもの。

丁寧に長期的視野で積み重ねていくもの。

積み重なった信頼はとてつもなく強い。

書道家
武田 双雲

令和5年 新年会のご案内

新年のひとときをご一緒に

日時 令和5年2月3日（金）

午後6時30分より

場所 グランドホテル白山

皆さまのご参加お待ちしております。

詳細は同封のチラシにてご確認ください。

新型コロナウイルス感染症に対して配慮して開催を予定しております。感染の状況により中止の場合もございます。

新規会員募集中

ご一緒に、交流活動を楽しみませんか。

女性会に未だ加入されていない知人ご友人いらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

加入資格：白山商工会議所女性会員又は、
会員企業の家族・従業員で、満18歳以上の女性の方
年会費：3,000円

新入会員のご紹介

宮崎幸奈さん

株式会社 I P O M O E A（西新町）

特許調査・翻訳業

ご加入ありがとうございます。

エコキャップ運動近況報告

第21回引渡し結果（令和4年11月28日）

収集キャップ個数 98,900個
ポリオワクチン相当数 115人分

いつもご協力ありがとうございます。

収集キャップ重量 230.0 k g

エコキャップ集めてます

ペットボトル飲料のキャップ収集を行っています。産業会館ロビー、商工会議所入り口の横に収集箱を設置しています。いつでもお持ちください。

汚れのあるもの、ペットボトル飲料以外のキャップ、アルミなどの金属キャップは、混入しないように願います。

ペットボトル飲料のキャップ以外はおめんなさい



混入しているものは、受取り出来ません。よろしく願います。